

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙２）

|     |          |
|-----|----------|
| 団体名 | 中野島学童ホール |
|-----|----------|

|               |   |
|---------------|---|
| 取組の名称         | 放課後児童健全育成事業を基盤とした地域との連携事業   |
| 実施場所          | 中野島学童ホール  |
| 対象地域          | 川崎市多摩区中野島周辺   |
| 対象地域の特色・課題    | 多摩川が非常に近く、梨を栽培する農家も多いなど、比較的自然が多い地域である。駅前の大型マンション、市営住宅が多いこと、最近では農地を宅地とする動きもあり、住民、若者、子どもが増えている地域である。自然が多いが故に、それらの場所周辺では、昼間と夜間の明るさ、人通りに大きな差があること、周囲から死角になりやすい場所が多いことから、若者や子どもが犯罪に巻き込まれる可能性が高いと考えられる。 |
| 取組の趣旨・目的      | 事業１：学童保育(中野島学童ホール)<br>小学生、およびその親に対し、放課後や長期休暇時の安全・安心な居場所を確保すること。<br>事業２：地域連携<br>子ども食堂開催による地域連携、および子どもの大人・異世代との交流による地域の輪づくり。  |
| 実施内容・実施スケジュール | 事業１：放課後児童支援員の指導の下、小学校 1~6 年生(医療的ケア児、特別支援学級児を含む)を対象に、放課後学習(学校の宿題、自主学習)、外遊び・室内遊びなどの集団生活から人間関係の構築力や自主性を養う支援を行った。<br>また、地域の特性や課題を踏まえ、より安全・安心な子育て環境の構築を図るため、地域団体と連携し学童児の送迎サービスの実施を検討したが、必要十分なマンパワーの確   |

|                    |  |                                 |                                       |
|--------------------|--|---------------------------------|---------------------------------------|
|                    | <p>保が困難であり、断念した。</p> <p>事業 2：学童保育の人的資源を基盤とし、地域の子ども、若者、その親、地域の大人に向けた情報発信を行い、地域の方々が気軽に立ち寄り、また、ボランティアの方々も気軽に参加ができる場所、仕組みをつくり、来場者に食事の提供を行った。</p>   |                                 |                                       |
| 参加者の年代             | <p>事業 1：児童</p> <p>事業 2：幼児~大人</p>   | <p><b>定員</b></p> <p>(1回あたり)</p> | <p>事業 1：約 20 人</p> <p>事業 2：約 25 人</p> |
| 実施頻度               | <p>事業 1：週 5 日以上</p> <p>事業 2：月 1 回</p>  | <p><b>活動日数</b></p> <p>(年間)</p>  | <p>事業 1：269 日</p> <p>事業 2：10 日</p>    |
| スタッフ体制             | <p>事業 1：常勤支援員 1 名/日、非常勤支援員+有償ボランティア</p> <p>1~2 名/日(長期休み時は増員対応した)</p> <p>事業 2：基本的に子どもを預ける親 5~6 名/回で対応(参加した子ども達も自ら手伝いを実施した)</p>  |                                 |                                       |
| 連携する団体・<br>連携の手法   | <p>事業 1：他の学童保育機関と定期的に会合を持ち、継続すべき点、改善すべき点の情報交換を行った。</p> <p>事業 2：近隣の子育て支援団体や保育機関の関係者や利用者に、子ども食堂を案内し、活動を認知してもらうと共に、親の就労支援、子どもの見守りについて意見交換を行った。</p> <p>かわさき子ども食堂ネットワークと連携し、子ども食堂運営に関する情報の提供を受けた。</p> <p>SIV(専修生田ボランティア)に協力を頂き、子どもや大人を対象に災害や防犯に関する訓練を行う予定であったが、今回は地域イベントへの協力を頂いた。</p> |                                 |                                       |
| 取組実施により<br>見込まれた効果 | <p>事業 1：親の就労支援と児童、および特別な支援が必要な児童、親への安全・安心な居場所を確保することができた。</p> <p>6 年間の集団生活を通して、年齢の異なる児童、大人(親、放課後支援員、関係する地域の方)との適切な 人間関係の構築、集団生活の送り方、地域との関わりにより、現代を生きる 術(すべ)を身につけることに寄与できた。</p> <p>事業 2：子どもや若者が、世代を超えた地域の方との触れ合い顔見知りになることで、地域ぐるみで児童とその親を</p>                                      |                                 |                                       |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>支え合う基盤の構築を行うことができた。異なる団体の方を受け入れることで、立場の異なる様々な方々の助言を得られるとともに、子どもも多様な価値観を知り、経験をすることができた。</p> |
|--|---|